

# 中古トラ輸出活発

## 須磨産業 整備不要で買い受け



国道沿いに掲げられた同社の看板・海外バイヤーが急増中



菊谷会長

本社敷地内と神戸市西区の西神工場に常時二千台の中古トラクタを保管しているが「ストックもなかなか一方。毎日のように世界各国からバイヤーが買いつけにくる。」

輸出が活発化した要因に

須磨産業(兵庫県三木市志染町三津田馬止一五五―二三)の中古トラクタ輸出が活発化している。

輸出先はアジア、オセアニア、中近東、アフリカ、北米、中南米など世界四十カ国に及ぶ。特に近年、ベトナム、タイ、インドネシアなど東南アジア諸国の需要が旺盛で、台数も急増、

輸出が活発化した要因に、明している。こうした状況から同社では中古トラクタの仕入れにこれまで以上に力を入れていく方針。そのため、全国の農機店、農協に対し、「手

二ーズに 대응するのに手一杯という状態が続いている。

と、農村労働力が都市へ流入しており、働き手が急減しつつある。また、教育水準が高まり、子供が農作業を手伝いにくくなった。さらに、人口の急増、世界食料サミット以後、各国とも農業を見直す傾向にあり、機械化の必要性を感じてい

まを買い受ける。▽問い合わせ先TEL 0794(87)1812

る。こうした背景があるが、さりとて低所得のため、新しい農業機械を買う余裕がない。日本の優秀な中古トラクタは喉から手が出るくらい欲しい」と、中古二ーズの高まりを指摘している。

また一方で、中古農機輸出業者としての同社の技術、安定供給力、品質等が高い評価を得ていることも要因の一つ。国数の増加に比べ、バイヤーの数が急増していることが、それを証